

セルフモニタリング報告書（令和7年度分）

令和 8 年 4 月 30 日

施設名：文化交流センター

指定管理者名：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

所管課名：教育部 生涯学習課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	施設の使命遂行を念頭に事業計画に沿って次のとおり適切に管理運営した。 1 市民が心豊かな生活をおくれるよう生涯学習活動や社会教育を推進し、文化交流と発信の拠点施設として市民の学習及び文化活動の場の提供に努めた 2 関係機関との連携を図りながら地域的課題や多様な市民の要望を捉え講座等の各種事業を展開した。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	利用者の声に耳を傾け、担当課の指示指導の下、近隣他施設と連携を図りながら利用満足度の向上と多世代の利用促進を目指した。具体的には手作りポスターでの告知、HPのこまめな情報発信や「いつでも貸館」での利用を含めた多チャンネルの利用申請を可能とした。その結果、Wi-Fiやメールでの利用などＩＴ環境が整備され、利便性が向上し利用者数・利用率とも向上した。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		－	－	－	－	－
自主事業は計画どおり行われたか。	当初の計画は確実に遂行したうえで、「弦楽四重奏カルテットコンサート」や「中学生インターンシップ（職業体験）」「千歳市社会教育委員会視察受入れ」等も開催した	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	地域の方と連携した「私たちの地域をどうしたら委員会」や「あいボラ企画」で高校生の発案を取り入れた講座、事業等を開催した	A	B	C	D	E
2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	例年どおり10月1か月間利用者アンケートを実施し、97,5%と高い満足度を得た	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	「どうしたら委員会」や満足度アンケート、意見箱、利用者への積極的な声掛けで意見要望を受け止めている	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	アンケートの要望や日常の利用者から出る機器の使用法や時間延長者、下見などの要望にも対応した。また、公共施設予約システム「いつでも貸館」導入に伴い、多くの利用者から登録や予約のやり方が分からない旨の問合せがあったが、都度懇切に説明し、新システムへの円滑な移行を促している。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	ペーパーレス化推進とオンライン活用で利用率向上と対応時間の短縮が図られ、ホームページでこまめな情報発信と予約状況の反映で利用者の利便性が向上また、省エネやペーパーレス化の推進等日常的に職員への意識付けを行いそれらを浸透させた	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	日常清掃、設備員（施設設備管理及びホール音響照明操作）は再委託せず自社職員とし、専門業務の再委託は市内・地元業者を優先的に採用し、複数見積もり等から経費は適切かつ最小を心がけた	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	定期利用サークルの開拓と一般利用増に向けWi-Fi機器等の整備と情報発信に努めた	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	接遇やクレーム対応、救命救急研修、情報セキュリティ、個人情報保護研修のほか公共施設予約システム「いつでも貸館」の導入に向けてシステムと取扱い方の研修で利便性向上に向け職員の能力向上を図った	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	舞台吊物や昇降機をはじめ館内外の定期点検に加え5類移行後も手洗いや消毒の励行などコロナウイルス感染防止対策を適切に実施	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	責任者常駐のため副館長は2名体制とし、その他企画書に沿った人員を配置、さらに定員外で障がい者を1名雇用した	適			不適	

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	条例・規則に基づき平等利用、減免、還付も含め適切に処理	適		不適		
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	改正保護法に沿い紙媒体、電子データともに厳重に管理し、職員には情報セキュリティと個人情報保護研修を実施	適		不適		
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	処理方法及び管理体制の確立と日々の多重チェック、上部組織による点検で適正に処理	適		不適		
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	仕様書に則り、適時に適切な法定点検及び保守を実施	適		不適		
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	仕様に則り文書・備品を適正に管理し台帳を具備	適		不適		
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	万事法令及び協定書に則り適正に管理運営	適		不適		
5 地域貢献						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	館員は地域から雇用し再委託も地元を優先し地域貢献に努めている。	A	B	C	D	E

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

生涯学習活動と社会教育の推進及び文化の振興と市民の文化交流の拠点であることを踏まえ、公共施設を運営する団体として、利用者が「安心」「安全」「公平」かつ「心地良く」利用できることを根底に据えて施設運営に取り組み、施設の使命を十分に果たした。

1 経営の基本姿勢は利用者目線に立った利用者ファーストの経営

- (1) 公共施設予約システム「いつでも貸館」を導入し、予約方法のチャンネルを増やし利用者の利便性向上を図った。
- (2) 見やすくわかりやすい施設のホームページで、こまめな情報発信と予約状況の反映で利用者の利便性が向上
- (3) 全室完備のWi-Fiを活用し、リモート勤務やWeb会議など平日日中の少人数利用が可能なことをアピールして利用増を図った。
- (4) 交流ひろばでXmasロビーコンサートを開催し、サークル活動のPRを図りながら地域貢献ができた。来場者は毎年100人を超えている。
- (5) 札幌や本州など遠隔地からの利用に、メールと銀行振り込みでの対応で利便性向上を図った。
- (6) 利用者や地域の声を館経営と地域発展に活かす狙いで「私たちの地域をどうしたら委員会」を開催し、有効な意見交換ができた。
- (7) 「あいばら企画」で高校のボランティア部と共同で「護身術」や「怪談会」などを企画、開催した。

2 将来の利用者開拓につなげるため、低年齢層の利用促進を図った。

- (1) 文化祭やクリスマス展やひなまつり展に児童センターの子どもたちの段ボールアート、地域の園児たちの作品を展示して、独自事業の改善・充実を図った。
- (2) 子どもや若者主体の行事「アイビー探検隊」や「アイビー・フェスタ（ダンスパフォーマンスショー）」などを開催し、多くの若者や子どもたちが参加した。
- (3) 高校生インターンシップ(職業体験)では事務、清掃業務のほか一日館長などの体験を通じて施設理解の推進ができた。